



「変化を機会としてとらえる」

このところの社会の変化はすさまじい。身の廻りの小さな変化、事業を取りまく社会の変化、国レベルの社会の変化、国際的な社会の変化。この変化を事業を遂行していく上の機会として身近に感じ、取捨選択して取り込む必要がある。変化に鈍感では今からの時代は生き延びることができない。



代表取締役社長 寺河 駿

今月のお客様

三月一八日に、公益財団法人 介護労働安定センターの小野晃 理事長様が来社されました。



寺河社長以下、関係スタッフがお出迎えて、沢山のお褒めの言葉をいただきました。

今回の来社は、「働きやすい。働きがいのある職場づくり」企業として、令和五年度介護労働安定センター愛媛支部賞を、悠遊社が受賞したことによるものです。(ゆうゆう新聞二月号に関連記事を掲載しています。)

介護職員初任者研修・実務者研修受講はじめ、社員の資格取得の手厚いサポートを賞賛していただきました。

また、特に外国人社員への国家資格合格支援など、新規事業開発部のチエンさんから、活動を大変興味深く聞いていただきました。

このあと、新年度の研修や資格取得も、令和五年度に負けず劣らず、より力を降り注いでいきたいと、スタッフ全員が、兜の緒を引き締めて新年度に望みたいと話していました。



令和六年新卒入社式

四月一日、新卒四名の方の入社式が行われました。また同日はミャンマーからも若い人材が入社することになり、挨拶のため本社へ来社しました。四名の新卒の皆さんへは社長から直接事例が交付され、役員の方から歓迎の言葉と熱いエールをいただきました。



入社式の後には、ミャンマーの皆さんと合流して、昼食を兼ねた懇親会が開催されました。食事が終わる頃には、張り詰めていた緊張もほぐれて、会話も弾んでいました。ミャンマーでは徴兵制が実施され、ヤンゴンでは軍が家庭に

訪れて強制的に徴兵するなどのニュースが入っていますが、来日された皆さんは、銃ではなく福祉を選び来日されました。異国の地で不安もあるかと思いますが、苦難を乗り越えて、ご活躍されることを期待します。さて、新卒の皆さんから熱いメッセージをいただきましたのでご紹介いたします

山田 柔晴



無事悠遊社に入社式も終わり、気分が上がり、今日はいかん大福を買って帰ろうと思っています。

松山に来て、新居浜は田舎だと改めて感じました。松山にきたからには、松山城や坊っちゃん劇場に行こうと思っっています。いま、道後温泉やラウンドワンに行きたいと思う、わくわくした日々を過ごしています。一度仕事に入れば力いっぱい頑張りたいと思います。沢山の皆さんを笑顔にできる力を僕は持つていますので、これから職場と社会へ貢献していきたいと思っています。

小野 楓馬



僕が入社して思ったことは、職場の雰囲気がとても良かったことです。これから、どんな苦しいことがあっても、何事にも挑戦だと思っていますので、全力でこの仕事をやり遂げたいと思います。そして資格もたくさん取って、この介護職に慣れていき、皆さんを支えられるようになりたいです。また、コミュニケーションがちょっと苦手な事を克服して、うるさいくらい、沢山に話をしたいとおもっています。

入社式 (女性二名は裏面トップへ掲載)



「四月誕生日職員」
福利厚生の一環として正社員10,000円・パートさん5,000円の誕生日祝い金を支給いたします。

- G H あんどクアンティ
- ミー チン / 有料あすな
- ろ北内 高橋 八重美
- G H エーデルワイス
- アンクオックズン・グ
- エン ティ トウータオ
- デイこぶしの花 宮本
- 陽子 / デイさくら 加地
- 寛実 / スマイルデイ 藤
- 田 めぐみ / G H たんぼ
- ぼ 大西 愛羅 中川
- 真規 大畑 明日香 松
- 岡 竜太 / ゆうゆう南
- 戸 高城 昌子 / G H 菜
- の花高松 宮脇 豊美
- 藤澤 隆子 / デイはなび
- 岡 菜摘 / G H 新町 青
- 野 ひろみ 高橋 陽子
- ・金崎 香美 / ゆうゆう
- 鹿角 ぐエンブアンフ
- ン / ゆうゆう春日 中野
- 美千子 / G H 紅葉の里
- だ 西岡 嘉珠美 / 福祉
- 用具 白石 浩司 / 有料
- ゆうゆう 越智 公子
- 片岡 榮里 近藤 喜江
- サ高住 新居浜 鈴木
- 麻衣 / 小規模 ゆうゆう 針
- 田 古川 真澄 福吉
- 福美 / 小規模 泉川 高畑
- 礼子 / デイきて民家 福
- 山 眞佐 / 有料 かりん
- グエンゴック ミンチャ
- ウ / 有料 フリージア 井
- 上 博康 / デイ花へんろ
- 西川 香織 / 小規模 ゆ
- うゆう立花 岡本 尚美
- 専門職推進室長 徳原
- 晶子 / 中予東 ブロック長
- 日野 俊子

新採の皆さんのメッセージです。

遊佐 彩葉



悠遊社に入社でき、嬉しく思っています。研修や高齢者の方との接し方を意識しながら頑張りたいと思います。

私が介護の仕事に就こうと思った理由は祖母でした。心臓が特に悪く歩行に難があり、私と家族全員でケアをしていました。そんな時、家族の誰ともなく「介護の仕事を目指してみたら」と言われ、介護の仕事に興味を持ちました。これからもよろしくお願ひいたします。

末兼 美菜



社会人としての自覚を持ち、利用者様から頑張りたいと考えています。

また、コミュニケーション力には自信がありますので、対話を通して信頼関係を築きたいです。社会福祉士の資格を持っています。利用者と直接関わることが出来る環境で経験を積みながら、自分の成長を楽しみにしています。また、利用者様だけでなく、先輩職員の皆さんとも楽しく幸せな環境で働けることも目標として頑張りたいと思います。

現場で気づいた大事な事

サ高住 あすなる北内

伊藤 杏佑

僕は今迄いろいろな施設で従事してきた中で、管理者によって現場の雰囲気が変わることに気が付きました。

いろいろな管理者がいる中で、ドンと構えてどんな時でも落ち着いて判断を出してくれる器の大きさが大事だと気付きました。

した。

落ち着いて判断をしてくれることで、現場は動きやすく仕事のしやすい環境に変化するので管理者の存在の大きさに気づきました。



サブの仕事をしていく中で、現場の事は任してくれ何かあったら責任はとると言ってくれたことで仕事やりやすくなりました。チベーションが上がりました。任されている分、慎重に考えて行動していかなければいけないと気付きました。

管理者の言葉一つで職員のやる気が変わることを改めて感じました。

今までいろいろな施設で従事していく中で、管理者を必要と思つた事がなく、自分の意見ばかりを述べ、それに反発したら異動させる人ばかりだと思つていました。しかし、現在の施設で働きだしてからはそんな管理者ばかりではないことに気付きました。

この施設に来るまでは管理者は座っているだけで何もしていない人、という認識でしたが、管理者業務の手伝いをしていく中で、想像していた以上に業務量があるんだなと気付きました。



多忙な中で、職員の意見に耳を傾けながら、入居者・利用者様を守っていく管理者の背中を見て、こんな管理者になりたいと思いました。

ゆゆう的グルメ

シヨートステイゆゆう大洲

ご紹介するのは、大洲駅から徒歩で約6分のところにある和食居酒屋「葵」です。旬のおいしい魚と料理に合うお酒が豊富なお店で個室もあり、ゆつたりした空間で友人たちとの食事会にもピッタリだと思います。



葵 CAFE 大洲市大洲三九二

お料理は刺身の盛り合わせから牛ヒレステーキ、里芋の天ぷらなど、素材の味を生かした料理はどれも逸品です。

その中でも私のおすすめの一品はhanaピザで、シンプルですがほかの料理を邪魔しない味付けで、気が付いたらあつという間に食べ終わってしまうほどです。



夜の大洲を訪れた際は一度立ち寄ってみて頂きたいお店です。昼間の大洲を訪れた際は葵の2号店「葵 CAFE」が、おはなはん通りにあります。古民家をリノベーションされ、中庭があるお店です。ここはハンバーガーとコーヒーがお勧めです。



大洲にも意外とおいしいお店があるので、ぜひ一度は足を運んでみてください。

社員のつばき

「子離れという名のミッション」

さくらスマイル 真鍋智恵子

この春で子供が高校を卒業し、何となく子育てがひと区切りついた感じで、嬉しさの中に淋しさもありたり。



進学のために他県へ行く事に。今は準備で頭がいっぱいだけど、出発の日が近づくとつれ淋しさの波が...

一八はずつと一緒の生活が当たり前だったのが別々に。

「ただいま」「おかえり」なんかの声もなくなるんよね。こんな感じが子離れなのか。そもそも子離れて何だろうと思いつつ、向かってはみてるけど、中々気持ちがついてこず、やばい涙出るって...



ミッションクリアまでに、まだまだ時間がかかりそう。



お出かけ・イベント

2月11日(三月)

二月の節分にはスタッフが鬼になり、ご入居様総出で鬼退治。季節の節目となる、楽しいイベントが出来ました。



二月下旬、松山市久保田町にある履脱天満神社(くつぬぎてまんじんじや)へ梅を見に行きました。



3月は、満開の菜の花を東温市見奈良へ見に行きました。訪れる春のひと時を楽しみました。



編集後記

今月は比較的早い時期に八割ほど完成していましたが、話題性のあるニュース素材のため二枠開けていたところ、資料を集計する事業者からのベースとなるデータが間に合わず、一日朝の時点で大枠が空白となりました。こういう場合は、準備していた話題を入れることにしていますが、ちょうど入社式が行われるということで、旬な話題として記事の再度差し替えをしました。サポートや契約等の業務の合間でしたが、なんとか記事ができました。改めて新聞や各種メディアのニュースの制作が大変か言うことを、ひしひしと感じることが出来ました。一日発行という表記の通り発行できると良いのですが、専門の広報部署ではなく、優先事項が山積している中で、合間を見ての作成となり、皆様からの原稿が一五日に揃ってこそその発行となります。今月はそういう意味で、早くに進めることが出来ましたが、大きなニュース掲載のため、一日の発行は断念した次第です。



発行 株式会社悠遊社
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南 二・二四・三十八
電話 〇八九九六五・一九九〇
連絡先 koho@yuyusa.co.jp
配布 毎月一日(基準日)